

平成28年産野菜振興協会菊池支部技術部会開催

菊池地域では、JA菊池、各市町、農業普及・振興課で野菜生産上の問題点を議論し、課題を抽出、共有するために技術部会を開催しています。

菊池地域の現状として、JA販売金額の減少や部会員、農家戸数の減少が進んでおり、産地縮小の傾向が見られます。このことから、産地維持の取り組みが必要不可欠です。

これまで、当地域ではJA菊池が主体となり、平成26年度(2014年)から2020年の東京オリンピックイヤーまでに菊池地域の農業振興を行うオリンピックベジタブルプロジェクト(OVP)2020を立ち上げ産地振興をめざし活動を展開しているところです。

OVPでは菊池地域のあるべき産地像を「担い手が入りやすい産地」、「稼げる産地」、「ブランド力のある産地」とし、菊池地域の農業生産について、長期的ビジョンをもって包括的に取り組むこととしています。

取り組みが始まって3年目となる本年度は、技術部会においてもこれらの目指す姿に近づけるように議論が行われ、新規就農者が多い品目であるアスパラガスの生産安定、収量向上対策に加え、新規販売チャネルの構築をめざし、露地野菜、加工・業務用野菜などの展示ほを設置し、担い手対策、稼げる産地を目指していくことが確認されました。

今後、菊池地域では関係団体、組織が共通認識をもって連携し、産地づくりを推進していきます。

